

談話室

産経新聞 令和2年(2020年)7月8日(水)

複合災害への対策を早急に

大学生 渡部 聖 20

新型コロナウイルス感染症関連で、3密(密閉、密集、密接)をはじめ、新しい生活に向け、さまざまな取り組みが行われている。

こんな時だからこそ、災害に対する備えが必要だ。日本は地震大国であり、台風や豪雨など自然災害が多発している国である。

一つ一つの災害への対策は、十分に練られている。だがコロナ感染症との複合型の災害には、なかなか対処しきれないだろう。避難所などで3密を防ぐ

対策を、早急に準備すべきだ。コロナを前提に、さまざまなマニュアル作りの見直しなど、新たな施策も必要になってくる。

市町村が独自に実施するには難しいケースも出てくる。国や都道府県レベルで協力し、実行していくことで少しずつ、より良いものができるはずだ。

安心、安全、人命に関わることだから、今からしっかりとした態勢を作らなければならぬと思う。
(奈良県大和郡山市)